

2020年度日本環境変異原学会 公開シンポジウム

身の回りの発がん物質と変異原 ～食品と大気～

世話人：国立環境研究所 中島大介・青木康展

2020年6月6日(土) 9:50~16:50

国立がん研究センター 新研究棟 大会議室(東京都中央区築地5-1-1)

アクセス：<https://www.ncc.go.jp/jp/about/access/tsukiji.html>

参加費：無料，事前申込不要。直接会場へお越しください

プログラム

- 9:50~9:55 開会の辞 三島雅之(日本環境変異原学会会長)
- 9:55~10:00 はじめに 中島大介(世話人/国立環境研究所)
- 10:00~10:50 有害大気汚染物質の発がんリスク評価
青木康展(国立環境研究所)
- 10:50~11:40 食品中の化学物質のリスク評価ーアクリルアミドを例にー
吉田 充(内閣府食品安全委員会 委員)

昼食休憩

- 13:15~13:45 調理において生成する多環芳香族炭化水素類とその塩素化体の曝露量推定
三宅祐一(静岡県立大学)
- 13:45~14:15 食品からのアクリルアミド曝露量推定
今泉圭隆(国立環境研究所)
- 14:15~14:45 飲酒と発癌の関係について
松田知成(京都大学)

休憩

- 15:00~15:30 大気中の高発がん性多環芳香族類の国内分布
柳下真由子(県立広島大学)
- 15:30~16:00 極性基を有するニトロ芳香族炭化水素の大気中動態と発生源解析
池盛文数(名古屋市環境科学調査センター)
- 16:00~16:30 大気汚染物質のシミュレーション
菅田誠治(国立環境研究所)
- 16:30~16:45 総合討論
- 16:45~16:50 おわりに
青木康展(世話人/国立環境研究所)

以上